

目 次

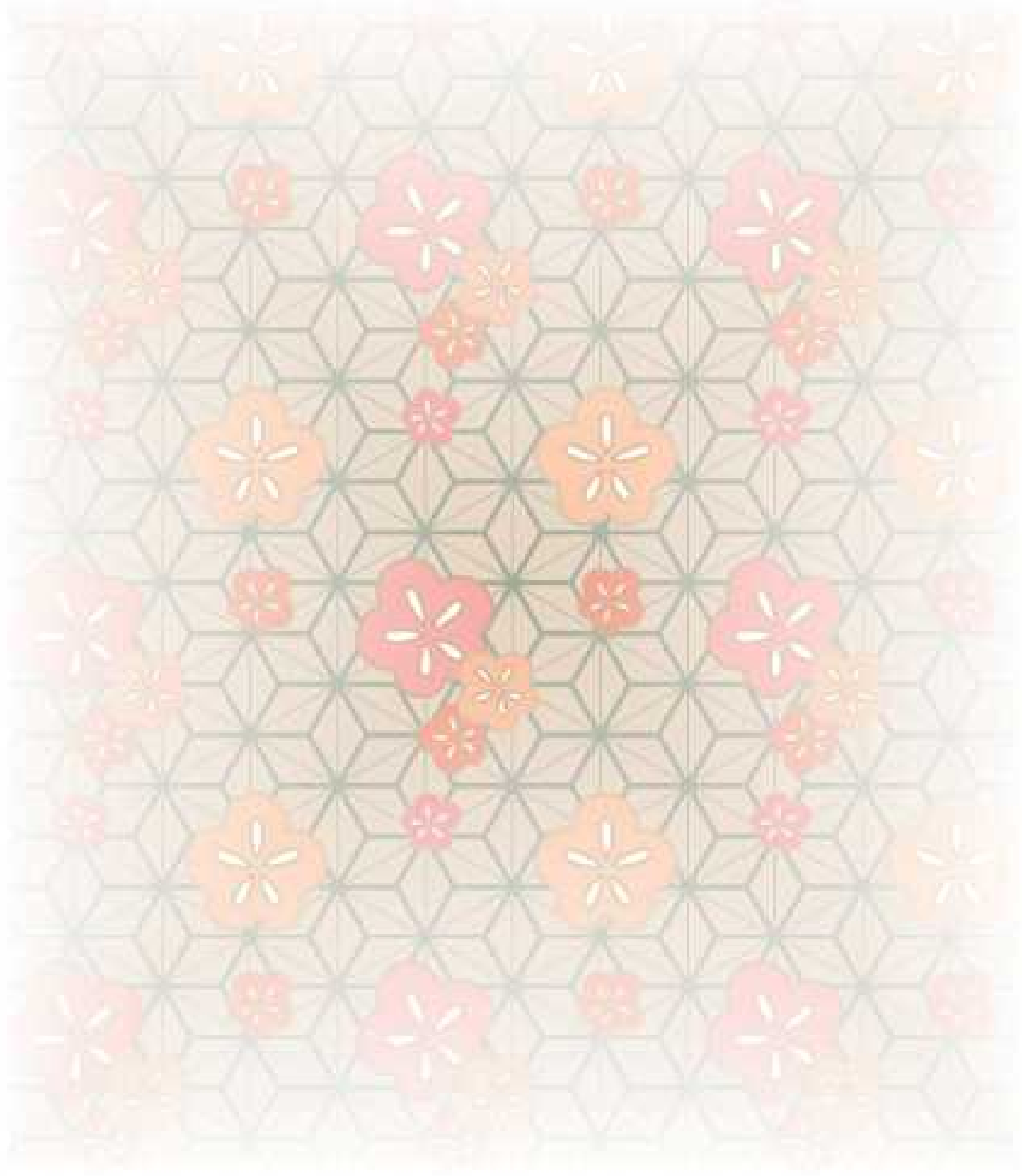
◇創立5周年記念式典に当たり	会長 山本英次	1
◇創立5周年記念事業と経過報告		
	五周年実行委員長 篠原昭雄	2
◇祝 辞		
	日野市長 大坪冬彦様	3
	2015-2016年度・国際ロータリー第2750地区 ガバナー 水野 功様	4
	2015-2016年度・東京日野ロータリークラブ 会長 横倉利夫様	5
	2015-2016年度・東京飛火野ロータリークラブ 会長 小島 明様	6
	2014-2016年度・全日本プロバス協議会 会長 中村 實様	7
	2015-2016年度・東京八王子プロバスクラブ 会長 永井昌平様	8
	2015-2016年度・東京多摩プロバスクラブ 会長 神谷真一様	9
	高幡不動尊 貫主 川澄祐勝様	10
◇各年度の紹介		11
	平成22年～平成23年度事業記録	12
	各委員会活動	13
	活動の写真	14
	理事・役員名簿	15
	平成23年～平成24年度事業記録	16
	各委員会活動	17
	活動の写真	18
	理事・役員名簿	19
	平成24年～平成25年度事業記録	20
	各委員会活動	21
	活動の写真	22
	理事・役員名簿	23
	平成25年～平成26年度事業記録	24
	各委員会活動	25
	活動の写真	26
	理事・役員名簿	27

目 次

平成26年～平成27年度事業記録	28
各委員会活動	29
活動の写真	30
理事・役員名簿	31
◇五周年記念式典・次第と写真集	32
◇会員の紹介	39
市川資忠会員・大島芳幸会員・奥 修兵会員	41
菊池昭雄会員・黒澤直明会員・小島 馨会員	42
小島康義会員・後藤一郎会員・後藤紀之会員	43
小西弘純会員・小林昭治会員・佐藤郁夫会員	44
澤田研二会員・篠原昭雄会員・渋谷文郎会員	45
須山裕子会員・須藤正義会員・曹 一男会員	46
田口賀夫会員・田村豊章会員・泊谷時男会員	47
中村代志子会員・林 良健会員・疋田久武会員	48
土方尚功会員・矢野凱弓会員・山本英次会員	49
横山好忠会員・鷺尾昭雄会員・渡辺 明会員	50
久保正男会員・和田一男会員	51
◇創立五周年記念事業実行委員会及び	
平成27年度委員会	52



**東京日野プロバスクラブ
創立五周年記念誌**



創立5周年記念式典にあたり



2015～2016年度 会長 山本 英次

本日の日野プロバスクラブ創立五周年の「記念式典」及び「記念祝賀会」へ、日頃より私たちクラブに多くの助言やご指導を賜っております高幡不動尊金剛寺貫主・川澄祐勝様を始め、日野市長・大坪冬彦様や国際ロータリー第2750地区ガバナー・水野功様、日本プロバス協議会会長・中村實様、東京八王子プロバスクラブ会長・永井昌平様、東京多摩プロバスクラブ会長・神谷真一様、他多数のご来賓の皆様、友人、知人を迎えて開催出来ます事を心より御礼申し上げます。

2010年4月1日に、第1回設立準備委員会が開催され、篠原昭雄準備委員長の基に新クラブ会員候補者10名が集結いたしました。

日野ロータリークラブ・設立支援委員長(後藤一郎氏)と飛火野ロータリークラブ設立支援副委員長(安西清氏)に東京八王子プロバスクラブ15周年記念事業・会長杉山友一氏のご指導とご尽力により、東京日野プロバスクラブが発足いたしました。

設立総会は当年9月16日に高幡不動尊金剛寺客殿におきまして、川澄貫主をお招きして盛大に開かれ、チャーターメンバーは26名でありました。

設立の趣旨にもありますように、日野プロバスクラブは、「第一線を退いた60歳以上の専門職業人や実業人たちがその豊かな知識や経験を生かしながら、お互いの親睦を図り、社会に貢献していこう」という団体です。

シニア世代と言いながら、まだまだ若さを誇っている人たちが集い、語り、楽しみながら地域社会へ視線を向けて活躍をしております。

五周年を迎えて、新しい一步を踏み出すにあたり、決意を新たにして皆様と共に新生日本の礎となるべくここに御誓い申し上げる次第でございます。

未熟なクラブではございますが、今後ともに皆様のお一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

創立5周年記念事業と経過報告

— 全会員参画の理念を貫く —



5周年記念実行委員長 篠原 昭雄

東京日野プロバスクラブは、多くの方々のご支援で創立5年になり、活動も年度ごとに充実してまいりました。

その節目に当たって、創設の理念に基づく活動を振り返り、更なる発展を期すための記念事業開催の聲が会員間に高まりました。記念行事には、日時・会場とともに、規模・式典・祝賀会、記念講演と出し物、記念品などがあり、“日野らしさ”も求め

られます。

プロバスは、相互の親睦を深めて自己実現を図り、社会に貢献するという目的や会員のキャリアから見ると誰もが役割を持ち、それを果たし得る人の集まりです。それを生かすためには、全会員の参画こそが相応しいと考えました。

そこで、その観点に立つ実行の企画・運営の組織作りを基本に据えました。

会員は、会長はじめ理事、各委員会、同好会のいずれかに所属しています。実行委員会は、歴代会長・幹事と記念事業に直結する委員会の長などで構成し、記念事業それぞれの在り方の検討を委員会に割り当て、それぞれの委員会は具体案にまとめて実行委員会に報告・提案する事としました。これによって全会員参画のシステムが実現し、行事すべてに全員の意向が反映できるようになりました。確かに十数回に亘った実行委員会における出席率も極めて高く、良案が多く出されました。それらを協議・検討した結果がこのたびの記念事業の内容です。

具体的には、(1)式典・祝賀会の次第とご来賓の招待及び祝辞、(2)期待と時宜に即した航空評論家小林宏之先生の「大空から教えられたこと」と題する記念講演、(3)社会奉仕の“ひのよさこい祭”参加や「愛のサウンドフェスティバル」の共催、(4)日野プロビアンズの合唱参加、(5)「創立五周年特別号」と「記念誌」の作成及び「記念切手」の発行などです。

実行委員会では、これらの他五周年記念事業の一環として、これまでの事業を振り返り、更なる発展を期すため“苟日新、日日新、又日新(大学)”の意気で改めて検討の会を開く事と申し添えて記念事業の報告と致します。

祝 辞

日野市市長 大坪 冬彦 様



「東京日野プロバスクラブ」創立5周年に寄せて

東京日野プロバスクラブが創立5周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴クラブは、平成22年9月に東京日野ロータリークラブ、飛日野ロータリークラブの協働提唱で設立されました。

それぞれのクラブのOBの方や第一線を退いた企業家や専門家の皆様で、親睦の会として構成されてはいますが、定期的に例会や行事を開催するなど、親睦の会という枠組み以上の活動をされており、会員の皆様方の熱意を感じているところであります。市政関連の事業におきましても、東京日野・飛日野の両ロータリークラブの皆様と連携し事業に参加していただくなど、さまざまな分野でご尽力をいただいております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

さて、日野市は、現在、高齢化率が約24%と、市民のほぼ4人に1人が高齢者であります。これからは、さらに人口減少を伴って高齢化が急速に進み、2040年には、高齢化率は34%、実に3人に1人強は高齢者というまちになることが予想されています。このような未来予測に対応して活力あるまちづくりを行っていくためには、高齢者の健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を大幅に拡充することが必要です。

そういう意味で、東京日野プロバスクラブの皆様の活動は、貴会の会則第4条に「生き生きと活動し、知り合いや視野を広めると共に、豊かな人生経験を活かして、地域社会に奉仕する」とあるように、これからの高齢者の健康づくり・社会参加の促進の模範となるものであります。

今後も、「諸力融合」の力を持って、持続可能なまちづくりを推進していきたいと考えておりますので、引き続きのご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京日野プロバスクラブの益々のご発展を期待するとともに、会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ祝辞とさせていただきます。

祝 辞



国際ロータリー第2750地区
2015～2016年度

ガバナー 水野 功 様

～東京日野プロバスクラブ創立5周年に寄せて～

日野プロバスクラブ創立5周年誠におめでとうございます。
心からお祝い申し上げます。また、スポンサークラブである八
王子プロバスクラブも今年20周年を迎えられており、重ねてお

祝い申し上げます。プロバスクラブは1960年代にイギリスで誕生したロータリークラブ支援の
主として第一線を終了された方々のクラブです。現在、世界では約4000のクラブがあり、日
本でも約110のクラブが活動されているとお聞さしております。日野プロバスクラブは東京日
野、飛火野ロータリークラブに創立のご要請が八王子プロバスクラブ杉山さんからあり今日
に至りました。日本の高齢化社会の本格的な到来を先取りするもので、現在では会員数、
活動ともに両クラブを凌駕するまでに成長・発展されました。

成長を支えられた篠原初代会長始め杉山さん、後藤さん始め関係各位に心からの敬意を表
します。

2020年東京で2回目となりますオリンピック・パラリンピックが開催されます年が、日野プロ
バスクラブにとり10周年に当たります。ますますのご発展並びに会員各位のご健勝・ご多幸
をお祈り申しあげ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



2015～2016年度

東京日野ロータリークラブ会長

横倉 利夫 様

東京日野プロバスクラブがめでたく創立5周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

貴プロバスクラブの発足は、平成22年9月16日創立総会をもつてのこと、わが東京日野ロータリークラブ創立45周年記念事業の一環として誕生したこととなります。以来5年の歳月を着実に歩み続け、会員数33名を擁する中堅クラブに成長されましたことをわがことのように喜び、うれしく思う次第です。

山本英次会長が掲げられておられる「会員それぞれの人生経験を活かして、地域社会に貢献するために何をしなければならないかをみんなで考えましょう」との指針の下、ともに手を携え地域社会を豊かにする活動に取り組まれておられる会員の皆様の御努力に敬意を表するばかりです。

この地域では数少ないプロバスクラブです。発足当時は現在のようにクラブ運営や奉仕活動についての情報も少なく、チャーターメンバーの方々にはさぞご苦労が多かったのではないのでしょうか。

21世紀の今日、時代の変化はめまぐるしく、貴プロバスクラブはその変化に対応すべく経験豊かな諸先輩方の力によって着実に実績を積み上げ基盤が構築されております。次の5年、次の10年と新たな歩み続けることにより、さらに豊かな環境を整えられて行くことでしょう。

我々東京日野ロータリークラブも貴プロバスクラブの5周年の歩みを大変喜び、わがクラブの若年会員からベテラン会員までが貴プロバスクラブの方々との連携をさらに深め、お互いの良さを奉仕活動に反映させるよう情報を共有し合い、より有益な活動に繋げていければ幸いと考えております。この結果として奉仕の輪を広げ高めていくことが出来ればこんなに素晴らしいことはございません。

ここに創立5周年を迎えられた東京日野プロバスクラブの皆様から心からお祝い申し上げますとともに貴クラブが益々発展されますようお祈り申し上げます。

祝 辞



2015～2016年度

東京飛火野ロータリークラブ会長

小島 明 様

日野プロバスクラブ創立5周年誠におめでとうございます。貴クラブが誕生するにあたり、私共のクラブより安西清会員が一年間オブザーバーとして参加し

てから、早五年も経とうとはついこの間のことのようにあります。

この五年間で数々の行事、業績を上げたとお聞きしております。これもひとえに、初代会長の篠原昭雄様・幹事の澤田研二様の初期運営の成果だと存じます。プロバスクラブは、様々な職業人としての我々の先輩です。

末筆となりましたが、貴クラブの皆様方のご健康とご多幸を祈念し、今後益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

祝 辞



2014～2016年度

全日本プロバス協議会会長

中村 實 様

創立五周年本当にお目出とうございます。

一口に五周年と申しますが、発芽したての幼い芽をここまで強く巨しく育て上げられたのは歴代会長、役員そして何よりも全会員の皆様が一丸となってこられた賜物であり、僚クラブとして心からお慶び申し上げます。

私は横浜生まれの横浜育ち、四代目の浜っ子の一人ですが、今は仕事などの関係もあり、明治神宮様の近く代々木に住んでおります。今朝は新宿から平成25年に開業百周年を迎えた京王電鉄に乗り、高幡不動で降りました。少々時間があつたので多摩都市モルルールの方に参りますと、懐かしいメロディーが合唱で聞こえてきました。駅員に尋ねるとこの近くの幼稚園児達が歌っているとのこと、通勤の足を速める人達にもこの歌声は届き、多分今日一日豊かな気分で仕事に就くことでしょう。こんな光景は終日、一年中続いていると思いますが、皆様の社会貢献事業の一つとして助力なさってはいかがと思いました。

こちら記念式典の会場は日野金剛寺(通称高幡不動)内にあり、建物の近くまでは平日でも多くの参拝客で賑わっていますが、この辺りは真言密教の寺院らしい静寂さと落ち着きのある雰囲気包まれ、例会場としてもまたとない素晴らしい環境とお見受け致しました。

真言宗智山派別格本山「高幡山明王院金剛寺」とよぶ当寺は、成田山新勝寺、玉嶺山総願寺と並び関東三不動の一つに数えられていますし、江戸時代には関東十一林(僧侶の学問所)の寺院として多数の学僧を排出したと聞きます。

こちらにお招き頂きまして祝辞を述べることを光栄に存ずる次第であります。

神奈川県南多摩郡日野宿村が1893(明治26)年に東京府に移管され、その後桑田村、七生村を加えて昭和38年11月3日現在の日野市が発足した歴史を顧みますと、私の出身母体・横浜プロバスと貴クラブとは同じ根にあると申せましょう。

今後も携えてプロバス精神の実現に邁進致しましょう。

祝 辞



2015～2016年度

東京八王子プロバスケットボールクラブ会長

永井 昌平 様

東京日野プロバスケットボールクラブ創立5周年、誠におめでとうございます。この5年という短い期間に、着実な実績と足跡を残された貴クラブに敬意を表します。

当初より、多摩川・浅川クリーン作戦への参加、「正秋バンド」コンサートの後援をはじめとして、「ひの新選組まつり」あるいは「ひのよさこい祭り」に参加するなど、地域に密着した奉仕活動には目を見張るものがあります。また、例会や同好会活動を通じて親交を深め、さらにはメンバースピーチや外部研修等で研鑽を積むなど、まさに親睦と奉仕を旨とするプロバスケットボールクラブの範となるところであります。

日野市は高幡不動尊をはじめ、日野と言う地名の由来も“とぶひ”にあるというように歴史にちなんだ町です。八王子もまた高尾山薬王院があり、町の名も八人の王子神に由来しています。したがって、東京日野プロバスケットボールクラブと東京八王子プロバスケットボールクラブは歴史にちなんだ隣人クラブと云っても良いでしょう。また、貴クラブの設立にあたって、東京八王子プロバスケットボールクラブが、多少なりともお手伝いしたことを考えると兄弟クラブでもあります。隣人クラブとして、兄弟クラブとして、お互いに助け合い、お互いを鏡としながら歴史に恥じない有意義なクラブ活動を続けたいものです。

今年度、山本英次会長テーマに「楽しくなければプロバスでない。遊びは人間の幅を広げる」という一項があります。まさに、クラブライフの原点は楽しさにあると思います。5周年を迎えられた貴クラブですが、さらなる楽しさを求めて、10周年、15周年に繋げて行かれることを期待しています。

結びに、東京日野プロバスケットボールクラブの益々のご発展と、皆様のご健勝を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



2015～2016年度

東京多摩プロバスケットボールクラブ会長

神谷 真一 様

おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

11月19日(木)東京日野プロバスケットボールクラブの創立5周年を記念する会が前日の悪天候とうって変わり、快晴のもと高幡不動尊の中の会館で秋の紅葉が美しい季節に行われた。

このような所で式典が出来るとは羨ましい限りでした。

5年前の講話では、高幡不動尊の貫主川澄祐勝様の「叱られるしあわせ」のお話をいただき、今回は元日本航空機長・航空評論家の小林宏之様のお話、心に残りました。

式典の二部で乾杯の発声をする事になり少々緊張しましたが、無事に終わったものですからほっとしました。

私達も高齢になりました。若い人達を入れて継げていきたいと考えてます。

八王子、日野、埼玉浮き城、と多摩が交流を深めていきたいと思いました。先日12月2日(水)には私達のプロバスケットボールクラブの忘年会を行いました。日野、埼玉浮き城の皆様にお越し頂き、多摩の会員は楽しみました。

日野プロバスケットボールクラブより山本英次会長他2名に参加頂き誠にありがとうございました。

新年を迎えます。元気で楽しいプロバスライフを進めていきたいと考えます。

祝 辞



高幡不動尊

貫 主 川澄 祐勝 様

11月19日の日野プロバスクラブの創立五周年記念式典には喜んで出席させて頂きました。

その折もお話させて頂きました通り、私どもの寺では社会貢献を主目的とする三団体、東京日野RC・飛火野RC・日野プロバスクラブの主会場になっておりますことを誇りにしております。

ます。

創立五周年を迎えた日野プロバスクラブの活動は、大震災関連から障害者支援活動まで大変広い範囲に亘っておりますが、日野市観光協会主催の三事業、日野新選組まつり・日野よさこいまつり・たかはたもみじ灯路への積極的なご支援、ご協力をいただいておりますことにあらためて御礼申しあげます。

プロバスクラブはその名の通り、ご自分の職業経験を踏まえて社会貢献に資することを目的とする団体ですが、この社会に貢献するという理念は釈尊の教え「自利々他圓滿」に通じるものであり、この他を利するということは限りある人生を楽しく生き抜く為に最も大切なことではないでしょうか。



各年度の紹介

平成22年～平成23年度事業記録

(2010年～2011年度)

< 年度基本方針 >



会長 篠原 昭雄

「活力ある高齢化社会の創造を目指し、親睦を深め共に学び、視野を広めて社会に奉仕すること」

創設初年度はプロバスの性格や活動の実現に戸惑いがあったが、目標に即した日野らしいプロバスにすることを基本とした。そのための全会員参画の体制・活動づくりに重点をおいた。

先ず隗より始めた。何事も“不如好之者、好之者、不如樂之者(論語)”である。具体的には会員がプロバスを好きになり、更に活動を楽しむことが重要。理事会・例会での出席が多く、充実した例会に満足感を持つこと。

創立1周年記念誌の会員メッセージは、この期待に応えるものであった。

< いま 思うこと >



幹事 澤田 研二

プロバス／それなんですか？で始まった出会い。内容を伺い名前を連ねるだけなら、とにかく今以上忙しくなると困るので、とお断りするも……

しかし、平成22年4月の第1回入会者顔合わせに参加、以降毎月の準備会が行われ9月16日には「設立総会」。

忙しくなる事は絶対困る、の申し出にも関わらず初代幹事に就任。

以降も10月には創立行事として「記念式典・記念祝賀会」を設立まで様々なご指導を頂いた日野RC・飛火野RC・八王子 PC・多摩PC等先輩クラブをお招きし開催。以降紆余曲折しつつも、平成23年6月に22年度総会が行われ、初年度が何とか終わりました。

各委員会活動

例会委員会 奥 修兵 委員長

設立初年度を担当するにあたり、委員会として如何に例会の基本的なスタイルを作り上げるかを主目的として活動した年度でした。

はじめての例会を迎えるにあたって事前に出席させていただいた八王子プロバスクラブの例会でそのスムーズでメリハリのある進行を見学させていただいたことが大変参考になりました。

当会員各位の自主的な役割分担もあって、おかげ様でなんとかそれらしい例会のスタートが切れました。

情報委員会 林 良健 委員長

平成22年11月18日 「プロバスだより」第1号発行 【毎月例会時に発行】

平成22年12月 9日 例会記録DVD制作① 【毎月例会時に発行】

平成22年 5月18日 入会案内パンフレット 発行

会員委員会 鷲尾昭夫委員長

平成22年10月、当クラブは会員26名で発足しました。設立準備委員会として設立時に30名を超える会員を擁したいと紹介活動を進めておりました。

発足後は会員委員会が新会員の募集と増強に取り組むことになり、まずは「入会案内チラシ」を情報委員会の協力を得て制作し、専ら既会員による口コミ勧誘に務めた結果、初年度末までに3名の方が入会されました。

研修委員会 小島康義委員長

平成22年4月15日 設立委員会の顔合わせに始まり、

平成22年9月16日 設立総会～平成23年6月までの10ヶ月が任期。

当時、渋谷委員・亡き森久保委員・黒澤委員・途中から市川委員が加わり度々委員会を設けて目的・企画・実行などについて話し合い、「親睦」をスローガンに掲げ、「趣味・同好会」アンケート収集を実行致しました。結局、この10ヶ月はアンケート収集・データー整理で終える事になりました。

地域奉仕委員会 山本英次委員長

①多摩川・浅川クリーン作戦(ふるさとの清流をとりもどそう)

日程 平成23年4月17日(日) 集合 9時25分、開会9時30分 終了 11時予定

集合場所 ふれあい橋(実施本部:日野橋南詰)

参加者 渡辺委員、小島会員、澤田会員、林会員、山本会員

②東日本大震災被災地支援街頭募金活動

日程 平成23年4月21日(木) 時間 例会終了後15時～16時

場所 京王線・高幡不動駅頭3ヶ所 参加者 メンバー多数

募金金額 25,245円+クラブ50,000円+メンバー35,000円の合計110,245円を日野市役所経由で日本赤十字社へ献金

年度活動記録



創立総会が終わり、祝賀会の前に記念写真



第一回理事会開催



メンバースピーチも始まる



第一回例会開催

地域奉仕委員会 委員長 山本英次 副委員長 渡辺明

- ①多摩川、浅川クリーン作戦(4/17)参加報告
- ・今後参加する場合：一か所に集まる。のぼり、揃いのジャンパーが望ましい。
- ・各種団体が参加、全体の参加者数 1471 名



新年会の司会(中村会員)と挨拶(菊池会員)

奉仕活動で汗をかく

八王子プロバスクラブの第15回学習サロンに篠原会長、菊池副会長、澤田幹事、山本地域奉仕委員長が参加。

■関係団体行事紹介

第15回生涯学習サロン (東京八王子RC)

特別講話「戦国武将の女性たち」

講師：元NHKキャスター 松平定知

・信長の妹お市の方と浅井長政との間に出来た3人娘の末っ娘、明智光秀の娘、秀吉の妻、前田利家の妻たちは、戦国の時代をどう生きたか？ TVでのいつもの語り口で、リアルに詳しく… 楽しい講演でした。(篠原会長、菊池副会長、澤田幹事、山本地域奉仕委員長、林情報委員長が出席) (H23. 2. 24)



役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	篠原 昭雄
	副会長	菊池 昭雄
	幹 事	澤田 研二
	副幹事	佐藤 郁夫
	参 与	後藤 一郎
	参 与	安西 清
理 事	例会委員長	奥 修兵
	情報委員長	林 良健
	会員委員長	鷺尾 昭夫
	研修委員長	小島 康義
	地域奉仕委員長	山本 英次
	会計監査	田村 豊章
	会計監査	中村代志子

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)/委 員
例会委員会	奥 修兵	◎中村代志子 田村豊章、泊谷時男、安孫子秀子 松澤紀美子、小西弘純
情報委員長	林 良健	◎瀬川爾朗 矢野凱弓、松澤紀美子
会員委員長	鷺尾 昭夫	◎後藤紀之 榎本吉伸、土方尚功、小西弘純
研修委員長	小島 康義	◎黒澤直明 渋谷文雄、森久保憲司
地域奉仕委員長	山本 英次	◎渡辺 明 新田 進、安孫子秀子

平成23年～平成24年度事業記録

(2011年～2012年度)

< 年度基本方針 >



会長 篠原 昭雄

「初年度の基本方針を引き継いで、全員参画を基本とし、今年の干支に因んで、東日本大震災復興支援「絆」をはじめ各事業・活動の飛躍と充実を図り、好楽のある会とする事」

先ず理事会及びメンバースピーチを含め例会の充実と関係クラブとの交流深化を図る。また各委員会活動は、それぞれの役割と共に、相互の連携を密にし活動の相乗効果(シナジー)を高める。具体的には会員委員会と情報委員会活動(会報など)との連携、研修と地域奉仕委員会活動との連携、それに同好会を加えてプロバスとしての活動の充実を図る。それらの活動は、例会や会報にも反映される。

< いま 思うこと >



幹事 澤田 研二

プロバス設立から10ヶ月、準備会5ヶ月を含めるとプロバスとの関わりは15ヶ月にもなった。しかし初年度の役員は年度途中からなので、2年目の役員は全員留任と決定し、正直自分としては相当の衝撃。しかし幹事としては右往左往しながらも、さすが「プロバス」会員に相応しい素晴らしい人材の集まりで、2年目の活動も着実に前進。「プロバスだより・創立一周年記念特集号」の発行に始まり、また他クラブとの交流も活発化し、さらには自らの社会経験を生かしつつ、社会貢献のための「きずな基金」を発足させるなど、クラブとしての着実な成長を感じつつ、次へのバトンタッチが出来たと思う。

各委員会活動

例会委員会 奥 修兵 委員長

前年度に引き続き同メンバーによる例会の運営。

試行錯誤の結果、昼食発注先の定着化、新年例会の内容の充実化、メンバースピーチに重点をおいた会の進行など会員皆さんに楽しく集まっていただけ様、その結果としての出席率の向上を願っての一年でした。

情報委員会 林 良健 委員長

平成23年 7月14日 「プロバスだより」第8号発行 【毎月例会時に発行】

例会記録DVD制作⑦ 【毎月例会時に制作】

「プロバスクラブホームページ」作成

平成23年10月20日 「プロバスだより」第11号 “創立1周年記念特集号”発行

平成24年 6月21日 「プロバスだより」第19号発行 【毎月例会時に発行】

例会記録DVD制作⑩ 【毎月例会時に制作】

会員委員会 鷲尾 昭夫 委員長

平成23年度は設立時と委員会メンバーは変わらなかったのので、引き続き既会員や関係クラブの方をお願いした口コミによる勧誘に務めました。クラブの活動内容の充実もあり、紹介出来る事例が多くなった事もあり、新しく6名の会員増強を図ることが出来ました。

一方、会員の相互理解を図るべく、他クラブの例を参考に「会員手帳」をつくり、平成23年10月に配付する事が出来ました。

残念な事に設立にお力を寄せていただき、引き続き参与として活動していただいた安西清様が飛火野ロータリーや警察協議会、保護司などのお仕事が忙しく、当年度末に退会されたため会員数は34名となっています。

研修委員会 小島 康義 委員長

前年度の「趣味・同好会」アンケートを基に実行する年度となりました。

①平成23年9月22日 「お江戸食べ歩き」と「W スポット見学」

新東京国際ターミナル見学→東京スカイツリー(車窓より)→築地場外市場(朝食・寿司)→柴又(昼食・うな重)→浅草(夕食・天ぷら)。以上グルメ三連ちゃんと帰りの車中はカラオケ大会。

②平成23年5月27日 「東北復興支援「南三陸温泉と世界遺産・平泉」

他に「ゴルフ同好会」、「旅行同好会」を立ち上げる事が出来ました。

地域奉仕委員会 山本 英次 委員長

平成24年5月27日～28日「東日本大震災復興支援ツアー」に参加。参加者21名

役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	篠原 昭雄
	副会長	菊池 昭雄
	幹 事	澤田 研二
	副幹事	佐藤 郁夫
	参 与	後藤 一郎
	参 与	安西 清
理 事	例会委員長	奥 修兵
	情報委員長	林 良健
	会員委員長	鷺尾 昭夫
	研修委員長	小島 康義
	地域奉仕委員長	山本 英次
	会計監査	田村 豊章
	会計監査	中村代志子

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)/委 員
例会委員会	奥 修兵	◎中村代志子 田村豊章、泊谷時男、小西弘純 安孫子秀子、松澤紀美子
情報委員長	林 良健	◎矢野凱弓 瀬川爾朗、松澤紀美子、疋田久武 大島芳幸、小林昭治
会員委員長	鷺尾 昭夫	◎後藤紀之 榎本吉伸、土方尚功、小西弘純
研修委員長	小島 康義	◎黒澤直明 渋谷文雄、森久保憲司、信田侑子 疋田久武、市川資忠、小島 馨
地域奉仕委員長	山本 英次	◎渡辺 明 新田 進、安孫子秀子、島倉邦子

平成24年度～平成25年度事業記録

(2012年～2013年度)

< 年度基本方針 >



会長 菊池 昭雄

基本方針を次の4項目とした。

1. 自立の精神で独自の奉仕活動を創造し取り組む。
2. クラブ運営には相互理解を深め協調を旨とする。
3. 例会は全会員が集う親睦の広場、参加の喜びを持ち気軽に楽しく。
4. 他クラブとの交流で視野を広め深化し続けるクラブを目指す。

この方針に基づいて以下は実施した概要。

視覚障害者の総合施設「光の家」の「光バンド」の定期演奏会の支援に取り組み、結果五周年記念事業として実施した。近隣3クラブの交流を促進する中で、合同ゴルフ会が行われるようになり、また各クラブの行事に積極的に参加し親睦を深めた。

例会委員が八王子PCの例会に出席し学んだ「にこにこワンコイン」を五周年の資金の一助とする目的で始めたのは快挙であった。

< いま 思うこと >



幹事 奥 修兵

パソコンを全く扱えない幹事等というのは今後も含めて私ぐらいのもの。幸いな事に抜群な事務処理能力を有する副幹事の矢野さんに“おんぶにだっこ”の1年でした。

菊池会長の掲げられた基本方針に沿ったクラブの一助になれたか？ 会長の女房役としての力量不足に反省しきりです。

各委員会活動

例会委員会 中村代志子 委員長

例会で行う「メンバースピーチ」を会員の皆様に快くお引受け頂きました。

また、基金と5周年に向けて「にこにこワンコイン」を発足。毎例会で多くの方にご協力いただき、そのコメント発表も楽しみでした。

例会のすすめ方でクラブ活動の全体像が決まる大事な役を1年間経験できたことに感謝します。

情報委員会 小西 弘純 委員長

2年間発行された会報はフォーマットが出来上がっている中で、担当年度としての自由度を模索する。ロータリークラブにより提唱されたクラブであり、皆さんにロータリークラブの事を少し知っておいて頂きたいと、「ロータリーの友」の主要記事を紹介する。投稿もお願いしたが、国際ロータリーの定義では「リタイヤした人たちの集まり」というプロバスクラブであるが、かなりの方が職業人であり、お忙しい中投稿は難しかったようであった。

会員委員会 土方 尚功 委員長

平成24年7月から平成25年6月まで委員長に就任致しました。

主たる事業は新会員の募集、会員手帳。

会員全般の努力で新会員の加入、会員自身による休会、復帰、退会など変化に富んでいた。

会員手帳の作成に当たっては「規約」の改正などの必要性や新会員の事情などから、次年度へ引き継ぐ結果となる。

研修委員会 瀬川 爾朗 委員長

①「三鷹天文台」見学 平成24年9月28日

参加者・11名(日野プロバスクラブ8名 日野ロータリークラブ3名)

説明・世話人 渡部潤一副台長

②「国土地理院」見学 平成25年1月22日 参加者・9名

③「気象庁」見学 平成25年3月12日 参加者・14名

④「JAXA相模原キャンパス」見学 平成25年5月17日 参加者・16名

地域奉仕委員会 渡辺 明 委員長

9月 正秋バンドに協力、10月 「夢ふうせん」バザー物品提供等で参加。

11月 石巻提供、サンマ奉仕活動による募金活動、 3月日野・飛火野RC献血に協力。

4月 多摩川・浅川クリーン作戦参加(雨天中止により、2部の懇親会開催12名参加)。

5月 ①「新選組まつり」参加、開会式に菊池会長、山本委員、新田委員がパレードに町役人として2名参加。

②「健康吹き矢」の基本、腹式呼吸の効用などの説明と実施。

年度活動記録

○平成24年7月19日・年度第一例会
平成23年度臨時総会
菊池昭雄・奥修兵幹事年度が始まった



○特別卓話
日野市長 馬場弘融様
テーマ「日野市の現状について」



○研修委員会
「国立天文台見学」 平成24年9月28日



「気象庁見学」 平成25年3月12日



○地域奉仕委員会
「正秋バンド」コンサート後援



○新年会



○旅行同好会「観桜バス旅行」平成25年5月23日



「JAXA相模原キャンパス見学」平成25年5月17日



役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	菊池 昭雄
	副会長	澤田 研二
	幹 事	奥 修兵
	副幹事	矢野 凱弓
理 事	例会委員長	中村代志子
	情報委員長	小西 弘純
	会員委員長	土方 尚功
	研修委員長	瀬川 爾朗
	地域奉仕委員長	渡辺 明
	会計監査	佐藤 郁夫
	会計監査	鷺尾 昭夫

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)/委 員
例会委員会	中村代志子	◎後藤紀之 曹 一男、田村豊章、泊谷時男 松澤紀美子、森久保憲治
情報委員会	小西 弘純	◎林 良健 安孫子秀子、大島芳幸、小林昭治 新田 進
会員委員会	土方 尚功	◎ 疋田久武 後藤一郎、篠原昭雄、鷺尾昭夫
研修委員会	瀬川 爾朗	◎黒澤直明 市川資忠、小島康義、信田侑子 渋谷文雄
地域奉仕委員会	渡辺 明	◎佐藤郁夫 榎本吉伸、小島 馨、島倉邦子 山本英次

平成25年度～平成26年度事業記録

(2013年～2014年度)

< 年度基本方針 >



会長 後藤 一郎

クラブは発足4年目に入りました。
既に理事会、委員会とも良く連携が取れ運営基盤は確立されています。
そこで、基本方針として更なる「会員相互の理解と親和」それを例会で推進する事としました。その命題に答えて……

1. 例会での司会担当の月替わり
2. 誕生月に会員のショートスピーチ
3. 例会終了後、各委員会の打合せ会の実施

三つの提案が実施されました。

今年度には1と2が引き継がれています。クラブに定着してほしいと考えています。

< いま 思うこと >



幹事 矢野 凱弓

第3代後藤一郎会長は、日野ロータリアンとして当クラブの創立に多大な貢献をされました。豊富なクラブライフ経験から、4年目の運営方針は明快でした。私は前年に副幹事を委嘱され、佐藤税務プロから会計を教わり、経験豊かな奥幹事の指導を受けました。

理事会前に毎月開催された四役会は大変中身が濃く、議案書や議事録の作成業務は会運営の全体像を知るのに大変役立ちました。副幹事を経験してから幹事を務めるのはありがたい事であったと感じています。

近隣クラブとの交流が盛んになった事が嬉しく、16回開催の理事会は今や楽しい思い出です。

各委員会活動

例会委員会 山本 英次 委員長

※例会メンバースピーチ

第32回・7月18日	森久保憲治会員(旅のつれづれ)
第33回・8月15日	曹 一男会員(日本語と韓国語)
第34回・9月19日	林 良健会員(「朝寝の人は“〇〇”になる」朝が変わればすべてが変わる)
第35回・10月17日	小島康義会員(我が家の犬たち)
第36回・11月21日	森久保憲治会員(旅のつれづれⅡ)
第37回・12月19日	須藤正義会員(私の経験したスーパーマーケット)
第38回・1月16日	島倉邦子会員(新舞踊)
第39回・2月20日	中村代志子会員(高齢者指導員として)
第40回・3月20日	松澤紀美子会員(お点前煎茶と和菓子)
第41回・4月17日	横山好忠会員(ビンテージ家具の話)
第42回・5月15日	日野市長・大坪冬彦様(日野市の近未来と市政の課題)
第43回・6月19日	定期総会(次期役員人事の議決と次期委員会所属の確認)

毎月誕生月に誕生月スピーチを行い、図書券500円相当をプレゼントしました。

情報委員会 小西 弘純 委員長

新たな企画として、クラブ会員の一部は日野市在住・在勤でないため、日野市の市政から日野に馴染んで頂くために毎月二回発行される「日野市報」を例会時に日野市以外の会員に配布。

会報は、例会の報告を主眼として、例会時のそれぞれの報告を読みやすく、わかりやすくを念頭に制作した。

会員委員会 小島 馨 委員長

会員委員会の仕事は地味で楽との印象がありますが縁の下の力持ちでコツコツと会員増強につながる情報を密にし、プロバスクラブの存在を広め新しい仲間が増えた時はとても豊かな気持ちになれる、逆に物故会員や諸事情で退会者が生じた時は寂しい思いを致します。

思い出ある「会員手帳」制作では小西会員、林会員、会員皆様に応援頂きましたが、新会員の余白スペースがなく、不備が多々あった事は残念でした。増強には今後共協力させていただきます。

研修委員会 林 良健 委員長

平成25年 9月20日	「体験学習」講座	健康「吹き矢」体験講座	受講者20名
平成25年11月12日	「見学」講座:	警視庁警察学校卒業式	受講者15名
平成26年 1月23日	「生涯学習」講座 「ことば遊びに見る笑」	明治大学教授山口政信	受講者14名
平成26年 3月 7日	「“生き方”に学ぶ」講座:	北原国際病院社長北原茂実様	受講者26名
平成26年 5月23日	「体験学習」講座:	健康「吹き矢」体験講座	受講者11名
	(地域奉仕委員会合同企画)		

地域奉仕委員会 渡辺 明 委員長

※使用済み切手・キャップの回収は年間を通して実施。

- 7月 「日野よさこいまつり」参加協力
- 10月 正秋バンドへ協力、「夢ふうせん」のバザーへの物品提供
- 3月 日野・飛火野 RC「献血に協力」
- 4月 多摩川・浅川のクリーン作戦への参加
13名が参加、懇親会で親睦を深める。
- 5月 「新選組まつり」への参加協力
開会式に後藤一郎会長、町役人に澤田委員と娘役に島倉委員がパレードに参加する。
- 5月 研修委員会と協賛で「健康吹き矢」を実施

年度活動記録



後藤一郎会長が就任し、例会第32回から12回の例会が始まる。

○第13回「ひのよさこい祭」
平成25年7月28日



○第一回「吹き矢」体験教室



○平成25年11月21日・第36回例会の会長挨拶

① 市政50周年に因み日野市より表彰された方が当日野プロバスクラブにおられます。特別功労賞・土方尚功会員、青少年育成功労賞・松澤紀美子会員。尚、市川資忠会員の弟さんが特別功労賞を受けております。

② 11月10日に多摩プロバスクラブの10周年記念事業がスタートしました。記念事業はセミナーで「首都直下地震に備えるjがテーマで3回の講演が行われます。

第1回は瀬川会員の基調講演で「地震のメカニズムと地震予知」など会場は満員で約100人一般市民の方々も参加しておりました。



○「警視庁警察学校卒業式」見学

平成25年11月21日



○新年会

平成26年1月16日



○研修委員会

「“生き方”に学ぶ」講座

テーマ「病院がまちをつくる、人を育てる」

講師 医療法人社団KNI理事 北原茂実様

「健康吹き矢研修会」

平成26年5月23日



○地域奉仕委員会

「多摩川・浅川クリーン作戦」 平成26年4月20日
「ひの新選組まつり」



○ゴルフ同好会

いつも活発な
同好会です。



役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	後藤 一郎
	副会長	瀬川 爾朗
	幹 事	矢野 凱弓
	副幹事	後藤 紀之
理 事	例会委員長	山本 英次
	情報委員長	小西 弘純
	会員委員長	小島 馨
	研修委員長	林 良健
	地域奉仕委員長	渡辺 明
	会計監査	榎本 吉伸
	会計監査	松澤紀美子

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)/委 員
例会委員会	山本 英次	◎泊谷時男、 奥 修兵、黒澤直明、小島康義 森久保憲治
情報委員会	小西 弘純	◎大島芳幸 安孫子秀子、小林昭治 須藤正義、田口賀夫、松澤紀美子
会員委員会	小島 馨	◎曹 一男 篠原昭雄、疋田久武、土方尚功 横山好忠
研修委員会	林 良健	◎中村代志子 市川資忠、菊池昭雄、渋谷文雄 田村豊章、鷺尾昭夫
地域奉仕委員会	渡辺 明	◎佐藤郁夫 榎本吉伸、澤田研二、信田侑子 島倉邦子

平成26年度～平成27年度事業記録

(2014年～2015年度)

< 年度基本方針 >



会長 鷺尾 昭夫

平成26～27年度のテーマとして、クラブの目的(会則第4条)に沿い

1. 知識と経験を生かし自己実現と社会貢献を図る。
2. そのために心身ともに健康管理を心がける!!
3. 和を重んじ寛容の精神をもってクラブを運営をする。
を掲げました。

例会でのメンバーによる卓話をはじめ講師を招いての研修、日野市をはじめ各種団体の行事に積極的に参加しました。

会員相互の親睦に貢献する同好会は、旅・ゴルフ・写真にコーラスが新しく加わり、健康増進にも寄与できました。

例会の出席率は毎回80%を超えており、委員会活動は五周年記念行事の準備もあり、活性化が図られた一年でした。

< いま 思うこと >



幹事 後藤 紀之

「昨年度は副幹事として主にクラブの会計・庶務を担当し、今年度は幹事として各会議体等の議事録作成・対外折衝等を担当させて頂きました。現役時代は経験した事も無いような職務でしたので当初は戸惑うことばかりでしたが、矢野前幹事に色々教えて頂き、どうか職務を全う出来たかなと思っています。今年の9月には当クラブの

5周年記念行事を控えております。幹事としての役目は残っていますので、当クラブ発展のため微力ながらお役に立てればと思っています。

各委員会活動

例会委員会 佐藤郁夫 委員長

お手伝い頂いた例会委員の皆様には、率先して、例会場他さまざまな準備をして頂き恙なく一年間を終える事が出来ました。

メンバースピーチも5年を迎えると皆ひと通り終えて二回目以降をお願いしても何々いい返事を頂けず苦労はありました。これからは外部の方をお願いできるものなら、予算を組んでスピーチをして頂くのも一案なのかなと思いました。

情報委員会 小西弘純 委員長

委員の皆様には大変ご協力頂きました。当委員会の委員長は、例会の雰囲気を知らずして「プロバスだより」を作る事が難しく、休む事も出来ない過酷な委員長職が数年にわたり続きました。

やっと、職が解かれホッとしているところですが、なかなか離して頂けない。五周年記念誌制作担当になり、もう少し頑張らねば……と云うところです。

しかし、終わってみると楽しい一年間でした。皆様、ご協力ありがとうございました。

会員委員会 中村代志子 委員長

運営細則の中に「会員委員会は、新会員の増強と計画をする」とありますが、今年度の会員委員会は5周年に向けて会員増強策として、会員40名を目標に計画をしましたが、達成に至らず現34名ですが、これからも素晴らしい仲間作りに心がけて、楽しい活動が推進できるように、会員が一体となり、5周年の大きな節目を大切に今後も大きく飛躍できる事を信じ前進しなければいけないと心に誓います。

研修委員会 横山好忠 委員長

①平成26年9月24日～26日 濟州島研修旅行

濟州島の歴史と文化(国立博物館見学)、世界自然遺産観光(城山日出峰)、民俗村見学等が印象的。

②12月14日(木) 中国研究では専門家でもある渋谷会員の卓話。

会員の皆様に聞いていただきたく、一時間の卓話としてお願いしました。

③2月19日(木) 講師;村瀬彰吾先生。日野の郷土史の研修会。

④6月4日(木) 講師;村瀬彰吾先生、日野、郷土史の研究会、2回目

今回は日野宿交流館3F会議室で開催、出席者15名。郷土史、新撰組誕生まで。

研修会終了後会員親睦を兼ねて講師を囲み懇親会で盛り上がった。

地域奉仕委員会 須藤正義 委員長

2014年

7月 ※地域奉仕委員会の年度計画作成および事業別担当制の実施による委員の意欲向上および活性化を促進する。

※日野よさこい祭り実行支援

9月 ※光バンドコンサート支援(会場内整理支援および入場券販売協力)

10月 ※夢ふうせんへのバザー用品の提供による支援

通年 ※ペットボトルキャップおよび使用済み切手の収集

2015年

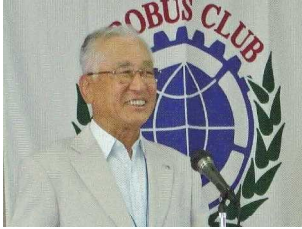
4月 ※多摩川および浅川クリーン作戦参加協力

5月 ※日野新選組祭り実行支援、

※会員の一体感の促進および外部に対する当クラブのPRを兼ねる

※新規ジャンパーの作成

年度活動記録



○鷺尾昭夫会長
平成26年のテーマ
1. 培った知識と経験を
生かし、自己実現と社
2. そのためにも心身とも
に健康維持を心がけ
る!!
3. 会員の総力を発揮できるよう、和を重んじ、寛
容の精神をもってクラブの運営を行う!!

○昼食は小島 馨副委
員長調理の自家製カ
レーライス。



○森久保憲司会員ご逝去(享年
85才)

○特別法話 川澄祐勝貫主



埼玉県秩父出身、14才の時に軟式テニスで決
勝戦まで進んだことがあります。農家の次男で
ブラブラしていても、と思い東京に出て大学に進
学し、大学3年で結婚しました。

その後、高幡系のお寺で得度式を経て、坊さん
の資格を取りました。

その頃はまだ決心がついておりませんでした
が、どう生きるかを考える様になり、次第に覚悟を
決めて坊さんになることを決心しました。

先般は入院しましたが、息切れをする様になり
検査の結果肺のうしろにガンを見つけました。

治療して現在は元気になり、お護摩のお務めも
きちんと出来る様になりました。

「三輪身」とは、私は私達衆生を導いて下さるに
当たり、主として三つの姿を取られます。その姿は
「自性輪身」・「正法輪身」・「教令輪身」の三種で
「三輪身」と呼ばれています。と資料をいただきました。
※平成26年9月18日(木)第46回例会・会報より



○写真同好会・山本英次会長より
五周年記念写真展開催の応募
協力の発表。



○コーラス同好会
ご指導下さる柴田啓
介様にお越しいただき
バリソ独唱を聴かせていただく。

卓話「日野3クラブゴルフコンペ ビデオ放映」
菊池昭雄会員

私は54歳のとき脳梗塞を発症しゴ
ルフを断れたが、以前、名立たる名門
コース小金井カントリー倶楽部でプ
レーをする機会があり、その素晴らしさに
感動したのを忘れない。



10月2日、その思い出のコースで行
われた「日野3クラブコンペ」の様
をビデオ撮影したが、規制が厳しく、1番
H、18番Hのサイドとコンパル
ームだけが許可された。

当クラブの8名と安西さん(元参
与)のプレーをピックアップし、賑やかな
パーティはなるべくカットせず
に35分に編集して観てもらった。
親睦の実を上げているゴルフ
同好会に敬意を表し、機材のお世
話を下さった林会員に感謝しま
す。

○新年会



○卓話「笑顔が持つ 底知れぬパワー」
林 良健会員

○特別卓話
「郷土史を語る」 講師 村瀬彰吾様



※定年退職後嘱託として音楽
関係の仕事。
※馬場市長に「ふるさと博物館」の
改革を託される。
※「新選組歴史館」
に改名し館長に
就任。
それを機に新選
組について猛勉強
「土方歳三」の本を出版する。



役員・理事名簿

	役 職	会 員 名
役 員	会 長	鷺尾 昭雄
	副会長	山本 英次
	幹 事	後藤 紀之
	副幹事	大島 芳幸
理 事	例会委員長	佐藤 郁夫
	情報委員長	小西 弘純
	会員委員長	中村代志子
	研修委員長	横山 好忠
	地域奉仕委員長	須藤 正義
	会計監査	市川 資忠
	会計監査	信田 侑子

各委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長(◎印)/委 員
例会委員会	佐藤郁夫	◎小島 馨 奥 修兵、黒澤直明、泊谷時男
情報委員会	小西弘純	◎小林昭治 曹 一男、田口賀夫、矢野凱弓
会員委員会	中村代志子	◎林 良健 後藤一郎、篠原昭雄、島倉邦子 渡辺 明
研修委員会	横山好忠	◎渋谷文雄 市川資忠、菊池昭雄、田村豊章 疋田久武
地域奉仕委員会	須藤正義	◎澤田研二 榎本吉伸、小島康義、信田侑子 土方尚功

創立五周年記念式典

日時 平成27年11月19日(木) 10時30分開会
 会場 高幡不動尊客殿 2階



第一部 記念式典(10:30~12:45)

司会 幹事 大島芳幸



○開会挨拶

会長 山本英次



○ご来賓祝辞

日野市長 大坪冬彦様



国際ロータリー第2750地区ガバナー

水野 功様



○ご来賓祝辞

全日本プロバス協議会
会長 中村 實様



東京八王子プロバスクラブ
会長 永井昌平様



高幡不動尊 貫主 川澄祐勝様



○ご来賓紹介

日野市長
国際ロータリー第2750地区ガバナー
地区幹事
多摩南グループガバナー補佐
全日本プロバス協議会 会長
副会長
幹事長
高幡不動尊 貫主
東京日野ロータリークラブ パスト会長
幹事
創立50周年実行委員長
国際奉仕委員長

会長 山本英次
大坪冬彦様
水野 功様
本田 誠様
井村廣巳様
中村 實様
立川富美代様
森山 功様
川澄祐勝様
成田恭隆様
西山尚之様
熊井治孝様
谷井正剛様

東京飛火野ロータリークラブ 会長 小島 明様
幹事 朝倉 邦雄様
副幹事 河野 和正様
濱田 宣郎様
安西 清様
東京八王子プロバスクラブ 会長 永井 昌平様
幹事 田中 信昭様
元会長 杉山 友一様
交流担当 浅川 文夫様
吉田 信夫様
東京多摩プロバスクラブ 会長 神谷 真一様
副会長 倉賀野 武士様
幹事 稲田 興様
総務委員長 鈴木 泰弘様
広報委員 北村 克彦様
全日本プロバス協議会会計幹事 中村 昭夫様
元日本航空機長危機管理講師 小林 宏之様

○記念講演

講師紹介 後藤紀之会員

演題「大空から、教えられたこと」

元日本航空機長 危機管理講師
小林 宏之様



○プロバスクラブ賛歌

全員で斉唱

○閉会挨拶

副会長 小島 馨

祝賀会

○第二部 記念祝賀会(13:00~14:30)

司会 副幹事 奥 修兵



○開宴の言葉

創立五周年記念事業実行委員長

篠原昭雄



○乾杯

東京多摩プロバスケットボールクラブ

会長 神谷真一様



○歓談



○日野プロビアンズ 指揮 柴田啓介
【入場】



【演奏】



○バリトン独唱 バリトン 柴田啓介



○東京日野プロバスクラブ活動報告
前会長 鷲尾昭雄



①平成22年10月5日秋晴れの下、ここ高幡不動尊客殿にて東京日野プロバスクラブは発足しました。



②当日は国際ロータリー辰野第2750地区がバナーをはじめ、日野市副市長、高幡不動尊貫主、それに生みの親の日野・飛火野ロータリークラブ、八王子プロバスクラブの方々など大勢の来賓、お客様がお見えになり賑やかに祝賀会が行われました。



③これに先だって9月16日には設立総会が開かれ会長に篠原昭雄を選出しました。

④・⑤



⑥当クラブ設立は東京八王子プロバスクラブ15周年記念事業として「プロバスクラブの拡大」を旨とし日野地区にプロバスクラブを

作ろうと日野・飛火野ロータリークラブに提案されました。両クラブはこれを受け、共同事業とすることとし、東京日野ロータリークラブでは創立45周年記念事業の一つとして取り上げられました。両クラブによる設立支援委員会が立ち上げられ、日野ロータリークラブから後藤委員長、飛火野ロータリークラブからは安西副委員長が選任され当クラブ設立に大変お世話になりました。後藤一郎、安西清のお二方には設立後も参与としてクラブ運営にご尽力頂いたこと忘れてはなりません。また、日野ロータリークラブの大谷明久様、八王子プロバスクラブの吉田信夫様には「プロバスだより」の広報や運営のシステム作りなどについて教えていただいたこと深く感謝いたします。

⑦発足間もない平成23年3月11日東日本大震災が発生し、例会を中止する事態になりました。その時



「私達に出来ることは何か」を考えクラブとして、又個人としての寄付のほか高幡不動駅前で街頭募金を行いました。

翌24年はじめには石巻市復興支援のため東芝提供のオフィス用具の清掃と運び出しを行いました。



⑧翌24年の5月には「南三陸2日間東北復興支援の旅」を実施し、1年以上経過しても、なお残された惨状が想像以上のものであり、その厳しさを身をもって感じた次第です。

篠原会長は“日野らしいプロバス”とすることを基本方針とし、全員参画の体制作りに取り組み、その結果、理事会はもとより例会の出席率も毎回90%近くと高く、第2回例会から始めたメンバースピーチは多岐にわたるテーマが取り上げられ経験交流と会員相互の理解を深めてきました。

活動としては、市の「多摩が・浅川クリーン作戦」に毎回参加し、日本赤十字社による献血活動にも協力し呼びかけを行いました。使用済み切手とペットボトルのキャップの回収は継続的に行い、社会福祉協議会に寄贈し、ワクチン購入資金の一助となっております。

このような活動により会員相互の理解と親睦は深まりました。現在ゴルフ、旅行、写真、コーラス、P・P (Probus Playing Club)と5つの同好会が活躍しています。本日はそのうち「写真」と「コーラス」についてご覧いただきました。



⑨Probus Playing Clubは“は皆で集まり何かして遊ぼう”よとの呼びかけるクラブで、先般は神楽坂で「太鼓持ち」の芸を見て楽しみました。

平成23年9月15日創立一周年記念式典にて篠原会長は「最初は戸惑いもありましたが、目的である会員相互の親睦をはかり各委員会の活動は充実し、多くの方々に支えられ今日を迎えることが出来ました」と挨拶されました。



⑩⑪基盤作りに努力された篠原会長に代わり、平成24年度は2代目会長に菊池昭雄が選出され“他クラブの交流によって視野を広め進化しけるクラブを目指す”との方針を定めました。



⑫近隣クラブとの交流を促進する中で「合同ゴルフ会」が定例化しました。また、八王子プロバスクラブの例会にオブザーバーとして参加させていただいて学んだ「ハッピーコイン」に習い、五周年記念事業

資金の一助とする「ここにコイン」を創設しました。



⑬地域活動としては、視覚障害者の総合施設「光の家」の正秋バンド(現在は光バンドと改称)の定期演奏会“



愛のサウンドフェスティバル”の支援や後援会活動、社会福祉協議会「夢ふうせん」のバザーへの出品等支援活動を行っています。



⑭平成24年からは「日野市町おこし連絡協議会」メンバーとなりました。



⑮「新選組まつり」、「ひのよさこい祭」、「たかはたもみじ灯路」のイベントに参画、平成25年9月には日野市社会福祉協議会の団体会員となり、福祉活動に協力しております。

第68回の国民体育大会では「スポーツ東京・2013」に参画し市との連携を深めました。

⑯平成25年7月に当クラブ設立委員長だった後藤一郎が第3代会長に就任。「更なる会員相互の深和と協力」を推進する方針をかかげその方策として・・・



- (1)例会の司会を持ち回りとする。
 - (2)誕生月の会員のショートスピーチ。
 - (3)例会終了後の各委員会打ち合わせの定例化。
- を図り会員参画に工夫を凝らしました。例会においてはメンバースピーチとともに有識者の方に特別講話をお願いしました。24年7月に馬場弘融による「日野市の現状について」、

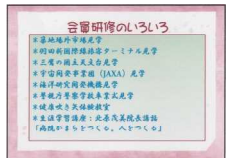


⑰26年5月に大坪冬彦市長による「日野市近未来と市政の課題」、

⑱川澄祐勝貫主には23年9月に「いのちの限り」、26年9月に「私の生い立ちと三輪法について」と2回にわたり特別法話をいただきました。



⑲会員の研修については、築地場外市場、羽田新国際旅客ターミナル、国会議事堂、



国立天文台、宇宙開発事業団(JAXA)、海洋研究開発機構、国土地理院、気象庁、宇宙科学研究機構、警視庁警察学校卒業式見学、体験学習講座として「健康吹き矢」を2回、生涯学習講座として北原神経外科病院北原茂実院長「病院がまちをつくる 人をつくる」、明大山口正信教授「ことば遊びに見る“笑い”」のお話をいただきました。

⑩また、日野市芸術担当である歴史作家・村瀬彰吾氏による「日野多摩地区の郷土史を語る講話」と「我が故郷の歴史探訪」で講話と日野宿本陣の見学を行いました。



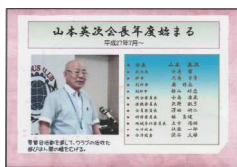
平成26年7月鷺尾昭夫が第4代会長に就任し引き続き日野市をはじめ各種団体の行事に積極的に参加

するとともに会員相互の親睦をはかることとし、その一つとしてコーラス同好会「プロビアンズ」が立ち上げられました。



平成26年11月には全日本プロバス協議会理事に三代目会長の後藤一郎が選出されました。

当クラブとし更なる活性化を図り、後藤理事をバックアップする責務を感じております。

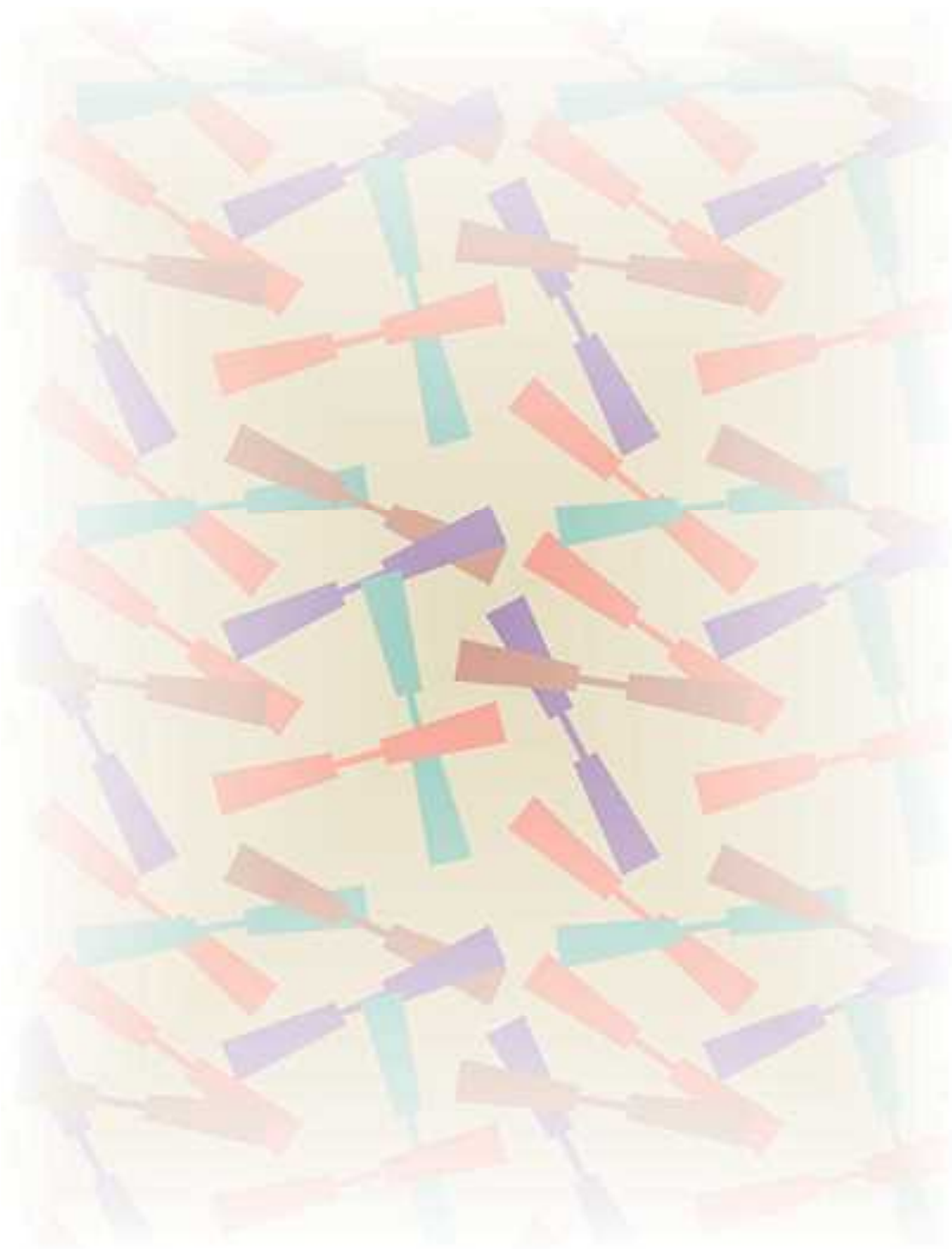


平成27年には山本英次が第5代会長に就任し、活動の継続と発展を期しております。

五周年を一つの区切りとしてステップアップをはかってまいりますので、皆様方の更なるご支援とご協力をお願いして五周年の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。

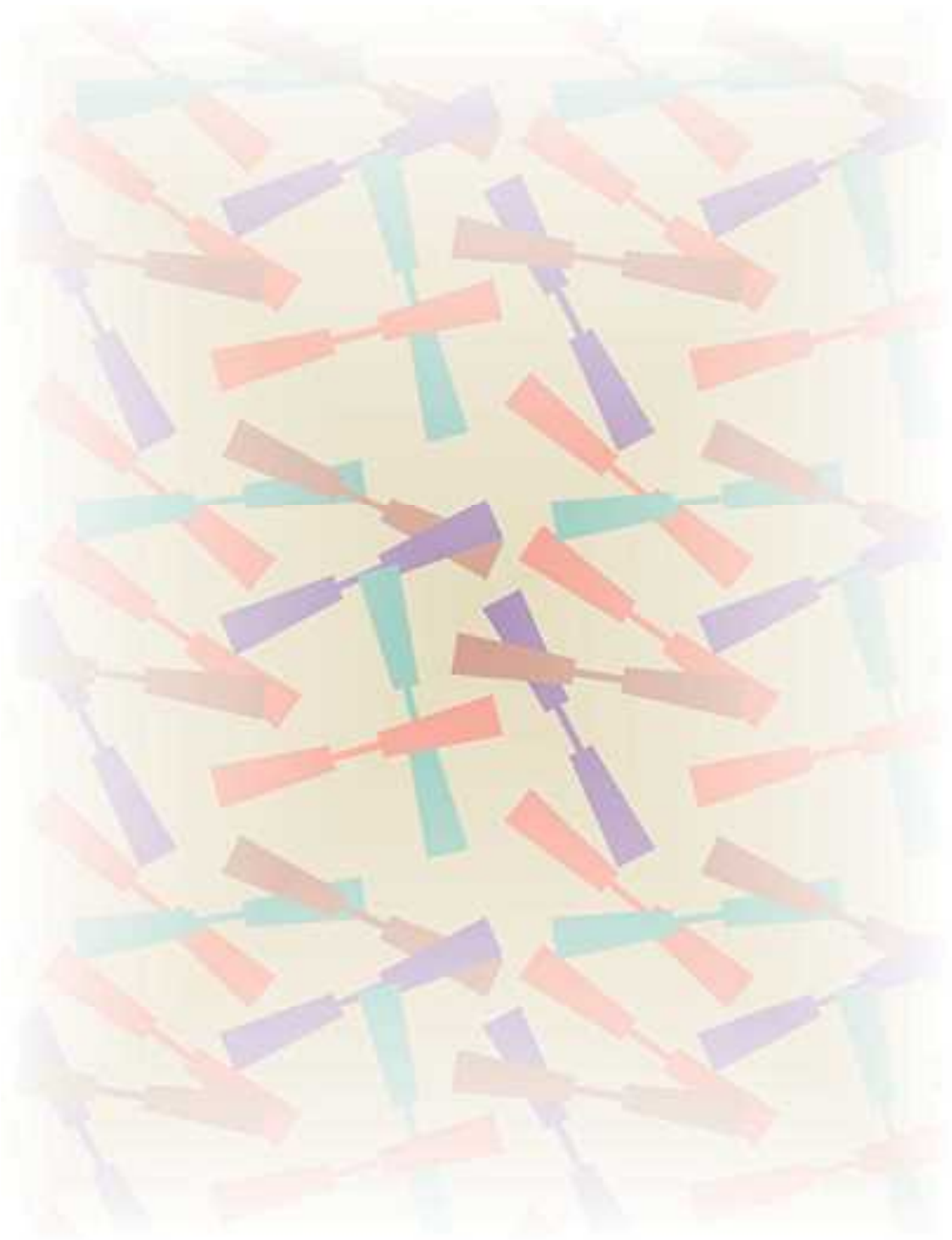
○閉宴の言葉 実行副委員長 後藤一郎







会員の紹介





テーマ『プロバスと私』

市川 資忠 会員

昭和4年高幡不動専門前にて産声をあげ、爾来86年間友人知人に囲まれてご当地にお世話になっています。

PTA、商店会、商工会、法人会等の役職も勤めましたが、当クラブほど多岐に渡る職業のプロフェッショナルな方々とお逢い出来る事は誠に幸せに感じ、これからもますます楽しいクラブになるよう頑張りましょう。



テーマ『プロバスと私』

大島 芳幸 会員

私が日野プロバスに入会したのは3年前の平成12年4月でした。入会早々に東北の被災地への研修旅行に参加したことが思い出されます。

60歳到達以前から、日野ロータリークラブの熊井治孝氏にプロバスに入れと言われ続けて、ロータリーと違って月一回の例会なので気楽だとも言い含められていたところへ、後藤一郎先輩から入会申込書が送られて来て観念し入会した次第です。

入会してみて意外だったのは、ロータリークラブの運営形式を踏襲していたことでした。

人生の達人たちの集いなので、もっと自由闊達な楽しいクラブ運営であってほしいと願っております。



テーマ『プロバスと私』

奥 修兵 会員

5年前には全く面識のなかった専門分野の知識を持たれる個性豊かな30数名の方々とのお付き合いの場が得られた事は、私にとっては当クラブに加入させて頂いた最大の収穫であった。

今後の会員各位の専門分野の知識や趣味多様な価値観に触れさせていただきながら知的好奇心の維持をはかりつつ心身ともに健康な後期高齢の時期を過ごしてゆくつもりです。



テーマ『歌は世につれ』

菊池 昭雄 会員

私が育った頃の歌は軍歌一色だったが、戦時歌謡も流行っていて好きで歌っていた。旧制中学の頃「昭和維新の歌」が学生の間で流行し、よく歌ったのを思い出す。新制高校では歌を習った。「平城山」「城が島の雨」「お菓子の好きなバリ娘」は今でも覚えている。大卒後、岩手の民放に入社、歌に接する機会が多くなった。やがてカラオケ時代の到来、老いも若きもカラオケに熱中し、カラオケは日本発祥の文化となり世界に広がった。

半世紀を超す会社勤めを終え日野市に転居、縁あってプロバスクラブに入会し、コーラス同好会に参加、五周年記念での初演奏に向けて練習を積んだ。出来栄が気になるところである。



テーマ『プロバスと私』

黒澤 直明 会員

私の日野プロバスクラブとの出会いは、60才をちょっと過ぎた、あたりで紹介されました。何も理解できないまま入会しましたが、周りを知ると私とは違う人達で驚き、どんな集まりのクラブなんだろうと躊躇しましたが、入会して活動すると、ちよい悪い親父の集まりのような只者ではなかった。

私にとっては新たな人生の歴史に残る出来事でしたよ。

取り敢えず五周年ばんざい！

これからもお互い思い合い、元気に笑顔で、いつもさわやかにお会いしたいな。



テーマ『古希を迎えて』

小島 馨 会員

私の誕生は昭和20年8月18日終戦3日後とあって常に自分の年令が終戦何年と年令を意識させられる誕生日で今年は古希「人生七十古来稀なり」を迎えます。大変な時代両親には深く感謝の念を抱いております。

父は明治生まれ(他界)、母は大正生まれ(他界)、そして私たち夫婦は昭和生まれ、養子の二人の子供達は平成元年と4年の生まれで歴史を感じます。

この年になっても未知の世界が多いので、プロバスクラブを介しての学びを大切に、どんな時代による変化があっても祖先を敬い、感謝する気持ちを忘れず、健康の自己管理に努め、日々最良と言える時を過ごしたいと思っています。



テーマ『5周年を迎えるにあたり』 小島 康義 会員

私として5年間よくもったな～

10周年までついていけるのかな～ 心配になりますが、入会できたお陰で、好きなゴルフ・釣り・カラオケなどで会員の皆様・他クラブとの交流も深まり、楽しくお酒を飲む機会が増えた事に満足しています。

多くの人達に囲まれ、微力ながら役目を果たしたいと思っておりますので、皆様のご協力、ご指導よろしくお願い致します。

最後になりましたが、東京日野プロバスクラブ生みの親であります“東京日野ロータリークラブ”・“東京飛火野ロータリークラブ”の皆様に心から感謝申し上げます。



テーマ『思い出巡り』 後藤一郎 会員

余命の少なさを思い、ここ数年、かつて関わった「ところ」を尋ねている。70年余の古い順から始めたので、当然ながらほとんど記憶と異なることが多い。わずかに公園や神社、寺院に名残を見出している。

そんな中で、良い方へ変わったのが一つあった。卒業した品川の中学校が、小中一体校・幼保の一体施設・地域センターの地域複合施設となっていた。

いま、働く女性にとって保育施設の不足は深刻でこの解決が少子化対策のひとつだと考える。学校の教室はあまっていると聞く、活用してほしいものだ。

なお、希望を言えば、老人もその仲間に入れてもらえないだろうか。



テーマ『プロバスと私』 後藤 紀之 会員

約5年ほど前に日野ロータリーの熊井さんから「今度周年事業の一環として“プロバスクラブ”という、現役を退いた60歳以上の方を対象としたクラブが出来るので参加してみないか？」とのお誘いがあり、詳しい事は何もわからないまま参加致しました。入会后、地域奉仕をはじめとして自己研鑽の機会、ゴルフ同好会等のレクリエーションなど興味深い活動があり、戸惑いながらも色々経験が豊富な諸先輩方に教えられ、少しずつそれらの活動にも参加するようになりました。

未だ、時々現役の仕事を片手間にすることもありますが、皆様にご迷惑をお掛けすることのないようこれからの生活を楽しみたいと思っております。



テーマ『プロバスと私』

小西 弘純 会員

多摩ロータリークラブに26年間在籍していたが、事情から退会した。しばらくはフリーでいたが、26年間もクラブにいたせいか何か寂しくなり、多摩プロバスクラブに入ろうと考えた。元々15年ほど前に多摩ロータリークラブ35周年事業で「多摩プロバスクラブ」設立を任せられ、手塩にかけて作り上げたクラブであったから、すんなりいくと思っていたところ、設立当初の会員を集めるときに家内にも入って貰った。当初はあまり気が進まないような入会だったらしいが、私が入ろうと思ったときは、楽しくやっていたらしく、入らせて貰えなかった。そんなとき、東京日野プロバスクラブが誕生したという情報があって、東京飛火野ロータリークラブの濱田会員に推薦して頂き入会させていただいた。楽しいクラブだ！ これからもよろしくお願ひします。



テーマ『プロバスと私』

小林 昭治 会員

15年ほど市内中学校野球部の外部講師を努めて、体力の衰えからそろそろ引退させて頂こうかと思っていた時、プロバスクラブへの入会勧誘があり入会致しました。素晴らしい経歴をお持ちの会員方々に迷惑にならないよう、自分なりに貢献できるよう、これからも頑張っていきたいと思ひます。



テーマ『私の孫』

佐藤 郁夫 会員

私は、東京の目黒の生まれです。戦後まもなくの小学校では、二部授業といって午前の部・午後の部に分かれ勉強していたものです。教室が間に合わなかったためでしょう。私には3人の孫がおり、運動会での活躍が楽しみです。それぞれの学年では、選手として花形のリレー競技に出場します。自分が走っているようで、はらはらどきどきします。団体競技なので勝負は、時の運。負けたときは「早かったぞ・惜しかったぞ・又次ぎがんばれ」となだめてあげます。一年一年それぞれ大きくなって、私の背丈をいつ追い抜かれるか。これも又楽しみである。



テーマ『プロバスと私』

澤田 研二 会員

5周年を振り返ると、私にはアツという間でした。
準備委員・初代幹事・2代目副会長、そして今年度は会員委員長。
この間のほとんどを世話役で過ごしてきました。

P・Cへの入会案内を受けた時、楽しそうな会だけど、いろいろ忙しく名前だけの会員になるかもしれないけどと、お断りして参加したのですが、実態は全く違う流れでした。

それはプロバス準備委員長のR・Cの後藤大先輩の見事なリーダーシップの手法に触れ、自分が今まで経験し、見てきたのとは違うリーダーとしての魅力を感じ「少し学んでみたい」の気持ちが心の一部にあり、忙しい毎日ながらも5周年まで継続し、楽しめた要因と言えます。



テーマ『生き甲斐の一つに』

篠原 昭雄 会員

“生き甲斐の一つに”と思い、それぞれ実のある社会に生きてきたメンバーと共にプロバスの活動を始めて早5年が経つ。平素いろいろな仕事に携わり過重に思える日々であったが、年の割に健康にも恵まれたためか、この5年間例会・理事会などには無欠席である。

プロバス活動の機会はそれほど多くはないが、参加を重ねるたびに自然に仲間意識が深まり、会うたびに親しみや楽しみを覚えるようになった。

それが生き甲斐に結びついているのではなかろうか。

心身の健康を持続するのは負担とも思うが、あと5年、10周年を今同様元気に迎えるよう精進する事がプロバス会員として務めのように思う昨今である。



テーマ『未熟に老いて』

渋谷 文郎 会員

今年、日野プロバスクラブに入会して五年目、86才を迎えた。

誰でも一回して生きられないのだが、ここまで生きるとは思わず、はじめて体験する自分の年令に戸惑う事が多い日々を過ごしている。

中国の最初の辞典「脱文解字」には「70を老いと言う」と書いてあるから、完全なる老人だとは思ふ。

しかし、世間では老人のイメージを、枯淡・成熟・温厚・達観・賢人・超然・孤高・高踏など俗人を超えた存在として評価している。

私はそのいずれにも該当していない。我俣・勝手・近頃はさらに気が短くなった。「修行不足」と云う事なのであろう……。出来るだけ研鑽して参りたいと思う。



テーマ『プロバスと私』

須山 裕子 会員

昨年の10月に入会させていただき、まだ一年生です。
これまで、大先輩の皆様のお話を拝聴させて頂き、皆様の知識、経験、行動力の素晴らしさに、とても感動しております。
これから私に何が出来るのか？
重い課題ですが、少しでもお役に立てます様に、頑張ります。



テーマ『プロバスと私』

須藤 正義 会員

私が日野プロバスクラブに入会して約2年7ヶ月になり、当クラブの活動内容や運営体制全体が理解できるようになりました。
そもそも当クラブに入会しようと思った時は、60才以上の後を楽しむ「老人クラブ」的なものと思っていました。
すでに入会して2年が経過し、当クラブの一員としてすっかり慣れ、最近では当クラブの今後のあり方などを自分なりに考える事がありますが、一会員として、少しでも会運営または地域に貢献できるよう、会員皆さんと共に努力したいと思っています。
日野プロバスクラブは今の私にとって「姿勢を正す」貴重な場所かもしれません。



テーマ『プロバスと私』

曹 一男 会員

月日の流れは速いもので、私がプロバスクラブに入会して3年余りが経ちました。このクラブの一員として常に感じることは、皆様とてもお若く元気でいらっしゃることです。
会員の中で80代の方が7名、70代の方が17名もおられます。
私は今年の12月でようやく70歳になりますが、父親や伯父達は皆60代半ばで他界いたしました。
私も焼肉業界をはじめいくつかの会合に参加しますが、その中では長老格になります。しかしながら、この会に来るとまだまだ若輩者だと感じ入る次第です。
大先輩・諸先輩方のはつらつとした姿を見るにつけ、ただただ頭が下がる思いです。
どうか皆様、益々お元気で活躍される事を心から願います。



テーマ『妻のこと』

田口 賀夫 会員

今年3月に永眠した妻田口直は、昭和19年11月日本橋浜町の生まれです。戦下、義父植村貞之助の日野自動車転勤が決まり、生後まもなく日野へ。その後、損保に復職した義父の転勤で小四からは富山で過ごしましたが、高校進学のため祖父母の暮らす日野に戻り、都立立川高校に通いました。

私と知り合ったのは東京女子大の女学生だった頃です。こちらは栃木県塩谷郡の舟生村育ちで、こんな田會者の自分とよく一緒になってくれたものだと、故人の同級生達にもよく言われました。彼女はどんなところに行っても「ヒロイ

ン」でした。

私自身も新婚当初から妻の祖母と共に豊田に暮らすようになって、現在に至っています。もったもった沢山の思い出がありますが、また別の機会にお話したいと思います。



テーマ『五周年に当たって』

田村 豊章 会員

日野プロバスの設立、そして私が入会してから早いもので5年が経ちました。毎月の例会、様々な行事、ゴルフ会と参加できなかった部分もありますが、中身のある楽しい時間が過ごせたと思います。

中でも私の印象に一番残った事は、東日本大震災の南三陸方面への視察バス旅行です。

宿泊したホテルで露天風呂に入り景色を見ると水面よりかなりの高さが有りましたが、そのすぐ下まで波が押し寄せてきた事を聞き驚いたと同時に津波の恐

ろしさを感じました。

これからもプロバスクラブを通し、いろいろな経験とよい思い出を作っていきたいと思います。



テーマ『東京日野プロバス5周年に当て』

泊谷 時男 会員

バブル絶頂時代に、恐れ知らずに商売に邁進した挙げ句の結果店を閉める事になり、日野ロータリークラブの会員も残秋の想いで退会するも、何時の日か、新たな店を復興する夢を抱いていた時、2年間のブランクにも大洋軒の再出発を願う素晴らしい仲間の方達の応援でエンゼル会員を募って頂き、その資金で13年前還暦を迎えた時に、新大洋軒を再出発する事が実現しました。

お陰様で店も順調になってきました。

微力な私ですが、「オモテナシ」誠心で、例会委員として、楽しく集う会にしたいと頑張ります。東京日野プロバスクラブ5周年おめでとうございます。



テーマ『5周年に当たって』 中村 代志子 会員

プロバスクラブの意味も解らないまま、ロータリークラブの谷井さんより薦められ入会したものの、場違いのところに来たような実感を持ちながらも、あっという間の5周年ですが、素晴らしい仲間に関われ生涯学習と奉仕の精神を忘れず楽しく活動が出来るように邁進したいと思っております。



テーマ『これからのプロバス活動は…』

林 良健 会員

毎月、日野市シルバー人材センターで、新入会員研修を担当しています。入所者の方々に、それぞれの成育歴、職歴・経歴など、過去の肩書やプライドを捨てて、この研修を通して、スナオな気持で就業してもらい、派遣された職場から喜ばれ、完成度の高い仕事をして頂きたいという願いをもって研修を実施しています。

年を重ねる毎に、日常の生きざま・人柄を、そのまま職場で再現して、不協和を奏でてしまうことがあります。わが身を振り返り、これを反面教師として、今後のプロバスでの活動を考えて見たいと思います…。



テーマ『プロバスと私』

疋田 久武 会員

平成23年6月に入会しました疋田久武と申します。職業は高幡不動駅徒歩2分の所で(株)高幡ホームを経営しております。不動産業で社員11名の会社です。

入会して4年間楽しい東京日野プロバスクラブライフでした。只、会員として楽しませて頂いて、皆様にお世話になるばかりで申し訳なく思っております。

諸先輩は知識が豊富で温厚で一緒の時は本当に楽しい時間です。

東日本大震災の被災地(宮城県南三陸)へ慰問に赴いた時の状況は今でも

脳裏に焼き付いています。

想いでの数々は字数に制限がある紙面にはとても表しきれません。ここに充実した価値ある5周年を迎えられる事に心より祝福致します。



テーマ『プロバスと私』

土方 尚功 会員

発足の時より5年、時のたつのも早いものをつくづく感じています。
過去の経験と、現職を持つ立場からか例会での早退が多くて申し訳なく思っておりますが、極力出席し情報の交換が出来れば大成功と思えますし、毎回発行される「プロバスだより」が素晴らしい資料としてファイルをしております。
今後もプロバスを通じて、地域発展につながる事業に極力参加して、会の発展と自分自身の向上のために頑張っております。



テーマ『私とプロバスクラブ』

矢野 凱弓 会員

シニアにも大事な**教育**（今日行く所あり）と**教養**（今日用のあり）は良く耳にするが、これに**協調**（今日も調子が良い）が加わると確かに理想的な老後ライフとなる。

5年前に縁あって日野プロバスの創立メンバーとなったが、お陰で「3今日」実現の有力な原動力となっている。日野に住んで47年になるが、此の5年間程地元の方々と広く深く活動を共にした事はない。最高の思い出は2年目の東北震災地**バス旅行**。そして3年目の知的好奇心溢れた4つの科学施設**見学研修**。3年目の副幹事会計、4年目の幹事役経験。

元気なシニアがそれぞれのキャリアを引っ提げて毎月一堂に会するのだから、それだけで立派な社会貢献になっている。加えて地域奉仕活動や地域行事への積極参加、社会福祉事業への各種応援など、見るべき成果を挙げている。

会員数も当初より2割アップだが、その間8名の卒業生も居られる。高齢者激増の時代にプロバスの持続的発展は真に意義深いものと思われる。



テーマ『5周年に当たって』

山本 英次 会員

入会以来早くも5年が経過しましたが、凶らずも、今年度の会長をお引き受けすることになりました。

これまでに、地域奉仕委員、例会委員、副会長のお役を仰せつかって参りましたが、諸先輩のご指導とご助言で無事に務めることが出来た事を喜んでおります。

これまでの皆様への恩返しに、クラブへどの様な形をもって貢献出来るかを考えながら、活動を続けて参りたいと思います。

全ての会員の周知を集めた準備段階を経て、五周年を迎えたクラブに大きな団結力を生み出した経緯を思い出すと、プロバスクラブへの愛着心が湧いて参ります。

この経験を忘れずに、人生の終活へと歩いてゆきましょう！



テーマ『私の思い！[戦後70年]』 横山 好忠 会員

戦後70年、10年一昔というが、7周したことで時代は激変した。……
結果として物質的に確かに豊かな時代になったが、反面精神的には多くの大事なものが失われ？ 全く先が見えない混迷の時代になってしまったように思われますが？ 我々は次世代に何を残してあげられるだろうか？ を考える時、地球環境が危ない？ かけがえのない地球は一つであり、その中に大勢の異文化を持つ異民族が暮らしている。全ての人類がそこで平和に共存、共栄を図っていなければならない運命共同体ともいべき宿命を背負って生きて行かねばならない状況下であると思います。身近なことで、我々が出来る事は何か？…（地球環境を元に戻そうというボランティア的活動を有志の方々と5年前から行っています）。

潜在的な自然植生を唱える宮脇 昭方式を用いて、津波や防災林としての機能を捉えた森を作る事の提案が主体であります。（土地本来の森）命の森を造る！ かけがえのない地球環境を守ろう！ という趣旨で行っています。又、振り返ると、人生は思う様にはいかないものだとつくづく思いますが？ あまりくよくよせず、明るい考え方で、スポーツと人生は後半戦が面白い！ 理想を失った時老いが始まる！ と言われているので常に考え方は柔軟に、少しでも人間として向上できる発想で生きたいと思っています、会員の皆様今後ともよろしくご指導いただけるようお願いいたします。



テーマ『プロバスと私』 鷺尾 昭夫 会員

後期高齢者の仲間入りをした年に当クラブ創立メンバーとなるようお誘いを受けました。どのような活動をするかもわからずに軽い気持ちでサインをしてしまいました。あれから5年、傘寿を迎え男性の平均年令を超えてしまいました。

この間クラブ運営の一翼を担ったり、活動に参加する事によりクラブの皆様の知識と経験を身につけさせて頂いた事本当に感謝しています。

健康に留意しクラブの一員として、今後とも充実した日々を過ごしたいと思っています。



テーマ『5周年に当たって』 渡辺 明 会員

入会のきっかけは、第一線を退いた専門的職業人等が集まって、その豊かな経験と知識とで社会に貢献し相互の親睦を図るクラブで、会での目的の70%が会員の親睦、残りは他クラブの交流や社会経験を活かし後輩の指導、目標の3つのない、4つのするに入会案内に感銘し、5年目を迎える事が出来たのは皆さまのご協力・ご指導が有ったからこそと感謝申し上げます。

特に印象に残った行事は、「お江戸食べ歩き&Wスポット見学」で諸先輩の方々のバイタリーに接した故森久保会員の流ちょうな司会で会員相互の親睦が図れた行事の一つと印象に残っております。

今後も、会員相互の親睦と地域の貢献を行いつつ、更なる前進を図ってまいります。



テーマ『プロバスと私』

久保 正男 会員

入会してまだ数ヶ月、最初に「プロバス」と聞いた時は、プロバスケットボール(?)の略称かと思いました。

しかし、ロータリークラブの活動は以前より知っていたので、私自身退職後は40年ちかく住み慣れた地元のために少しでも役立つ事が出来ればと、入会させて頂きました。

今後は「例会」、「ゴルフ」等を通じて一人でも多くの人と接しコミュニケーションを深め自身をみがいていきたいと思っております。

いろいろご迷惑をおかけするかと思いますがよろしくお願いします。



テーマ『仕事への信念』

和田 一男 会員

5周年おめでとうございます。

私も商いを始めて45年になります。振り返ってみますと、当時店を開いて町外の周囲を畑に囲まれた人の通らない、車社会もこれからという時代でした。

商いを始めるのに、まずキッチンフレイズとして、行ってビックリ、見てビックリ、食べてビックリと言うのは、今までの寿司の逆発想の商いをする事にしたわけです。そのひとにあう、あわないということもあります。そのような中、寿司の話が出たとき、一番に店の話が出ればと思いました。お陰様でそのような店作りが出来、今も続けています。この一貫彼方のために心を込めて握ります。

出来、今も続けています。この一貫彼方のために心を込めて握ります。

なんとなく、こんな人生を繰り返し、日本全国本物の魚をもっと皆さんに知って頂きたいと、こんな思いでいます。



日野市の花「菊」

創立5周年記念事業実行委委員会

委員長	篠原 昭雄	(平成22.23年度会長)
副委員長	菊池 昭雄	(平成24年度会長)
副委員長	後藤 一郎	(平成25年度会長)
委員	鷺尾 昭夫	(平成26年度会長)
委員	山本 英次	(平成27年度会長)
委員	小島 馨	(平成27年度副会長)
委員	澤田 研二	(平成22.23年度幹事)
委員	奥 修兵	(平成24年度幹事)
委員	矢野 凱弓	(平成25年度幹事)
委員	後藤 紀之	(平成26年度幹事)
委員	大島 芳幸	(平成27年度幹事)
委員	横山 好忠	(27年度副幹事)
委員	林 良健	(記念式典・祝賀会担当)
委員	小島 康義	(記念式典・祝賀会担当)
委員	佐藤 郁夫	(記念式典・祝賀会担当)
委員	小西 弘純	(記念誌発行担当)
委員	土方 尚功	(地域奉仕委員長)
委員	中村代志子	(会計担当)

平成27年度 委員会活動

例会委員会	委員長 小島 康義 委員 黒沢 直明	副委員長 後藤 紀之 佐藤 郁夫 泊谷 時男
情報委員会	委員長 矢野 凱弓 委員 小林 昭治 疋田 久武	副委員長 小西 弘純 曹 一男 田口 賀夫
会員委員会	委員長 澤田 研二 委員 須山 裕子	副委員長 篠原 昭雄 田村 豊章 中村代志子
研修委員会	委員長 林 良健 委員 渋谷 文雄	副委員長 渡辺 明 鷺尾 昭夫 和田 一男
地域奉仕委員会	委員長 土方 尚功 委員 市川 資忠	副委員長 久保 正男 菊池 昭雄 後藤 一郎

◇ 編集後記 ◇

十年が一昔なら、五年はたったの半分ですが、その僅かな期間に実に大きな社会の変化がありました。五年前は民主党政権でしたし、東北大震災や福島原発事故にも遭遇しました。日野プロバスは超高齢化社会の到来と軌を一にするように船出し、よちよち歩きながら、此処に最初の5年間の活動記録をまとめる事が出来ました。ご指導頂いた関係各位に深甚なる感謝を申し上げる次第です。

平成28年2月吉日

矢野 凱弓